

第4回 Oici 薬薬連携セミナー ～これだけは押さえておこう～

大腸がんと婦人科がんの治療薬、がん治療の一環としての栄養学について

開催日時： 令和5年9月20日(水) 19:00～20:00

開催形式： **Web 開催** TEL:06-6945-1181 担当:薬局 角川幸男(かどかわゆきお)

※講演資料は開催日までに事前に送信します

事前申し込み： <<締切：9月15日(金) 17:00>>

参加を希望される先生は、[下記の事前申し込みフォームを入力してください。](#)

<https://docs.google.com/forms/d/1754KQoRd-yk05ya56Kk0I501gL112gqtGr4plOr83tw/edit>



参加証明書の発行： [事前申し込み](#)、[当日視聴ログ](#)、[開催後のアンケートのメール返信を確認し](#)、
[ご希望者には、参加証明書の PDF データを送信します。](#)

参加費： 無料

内容：

今般、保険薬局薬剤師と病院薬剤師との連携を密にし、抗がん剤レジメンや副作用モニタリングの内容を共有することや、トレーシングレポートを有効活用することが重要です。

そこで、今回は、大腸がん治療や婦人科がんに用いる抗がん薬による副作用の理解、およびがん治療の一環とした栄養学をテーマとし、主に副作用管理と薬薬連携の運用における情報の共有を深めることを目的としたセミナーを企画しました。

大腸がんや婦人科がんの治療を受ける患者数は依然多く、様々なレジメン・抗がん薬での副作用の理解を深めることが重要であり、重篤な副作用発見における保険薬局薬剤師の先生方が果たす役割は大きくなっています。また、栄養学はがん治療および QOL の維持において重要性が高く、理解を深める必要があります。

今回のセミナーでは、より実践的な内容について情報共有をし、今後の業務に活かせるように、有意義

な時間を作っていきます。

講演①: 19:05～15分ほど

演題名: 「大腸がん治療(ロンサーフ®とスチバーガ®)の副作用対策(仮)」

講師: 大阪国際がんセンター 薬局 池下 智之

講演②: 19:20～15分ほど

演題名: 「婦人科がん治療(リムパーザ®とゼジューラ®)の副作用対策(仮)」

講師: 大阪国際がんセンター 薬局 瀧澤 あつ実

講演③: 19:35～15分ほど

演題名: 「がん治療の一環としての栄養学(仮)」

講師: 大阪国際がんセンター 薬局 野崎 圭佑

※演者3名の講演のあと、まとめでの質問コーナーとなります(質問はChat機能を予定しています)。

以上